



院長
伊藤 真理子
プロフィール

●(いとう・まりこ) 1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の

女性の



不正出血

出血が止まらない！
女性にとつてとても不安
で鬱陶しいものです。

貧血の原因にも

女性の貧血の原因は過多月経や止まらない出血が多く、体内で酸素を運ぶ赤血球が減って酸素不足の状態が続きます。息切れ、めまい、動悸、頭痛などの症状が出ます。自分で診断するには下まぶたの裏の色をチェックしましょう。赤みがあるのが良い状態。真っ白なら重症貧血です。顔色には貧血が進めば赤みが消え、重症だと黄色がきます。貧血が強くなると「冷

蔵庫の水をかじりたくなる」という方がとても多いです。そんなサインが出たら貧血を疑い、検査して治療してもらいましょう。



機能性出血とは

中学生・高校生ぐらいのお嬢さんでも出血が止まらないことがあります。少量だったり時には多量だったり。その場合は腫瘍などが原因ではなく、女性ホルモンの乱れによる機能性出血(無排

卵出血)がほとんどです。止まらない場合はホルモン剤を用いないといつまでも出血が続きます。ピルも有効です。

子宮がんの初期も

「子宮頸管ポリープ」や「子宮がん」の初期にも出血が止まらないことがあります。月経だと思いきんでいた出血が実は妊娠に関連した出血であることも。「妊娠は絶対ありえません」と言いきる人でもなぜか妊娠している場合があります。

更年期でも出血

更年期に入ってホルモ

ンの乱れによる出血は更に厄介で、水道の蛇口をひねった様な出血が止まらないと表現する人もいます。この場合も機能性出血が多く、子宮筋腫などが合併していたら更に大量に出血します。それにしても女性には出血や貧血に我慢強い身体なのだとつくづく感じます。

〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町6-35

医療事務スタッフ
増員募集中！

(履歴書を郵送して下さい。)

